

一般質問

平成18年第3回定例市議会は、9月14日から29日まで行われ、一般質問は、9月15日から21日までの4日間、教育、福祉、防災、環境行政などについて11人の議員が質問しました。

天神林美彦 議員

【問】 登別市社会教育中期計画（きらり・はつらつ・みちたり・ライフ）における取り組みの最重点をどこに置いているのか。

【答】 社会教育については、五年毎に教育中期計画を策定し、この計画に沿って推進を図っている。

【問】 今回の計画においては、「人づくり」を重点目標としており、生涯の各時期に求められる学習活動や世代間交流、ボランティア活動への市民の積極的な参加を促すとともに、これらの活動内容のさらなる充実に取り組んでいる。

木村 純一 議員

【問】 新バリアフリー法は、市町村が住民参加型の協議会を設置して基本構想を作成し、バリアフリー化する施設などを提案できるようになった。本市の考えは。

【答】 市の財政状況を踏まえ、基本構想を作成して整備の促進を図ることは困難であり、施行令等の細部が決められた後、検討したい。

【問】 VDT症候群に関わる職員の健康管理について。

【答】 職員の日常業務において、パソコンを使用する頻度が多くなっている。VDTを使用する作業の



▲展示作品

実態に応じて職員の健康管理に努めたい。

VDT (Visual Display Terminal) の略で、表示画面を持った情報端末のこと。症候群とは、VDT作業による健康トラブルの総称で、眼症状、運動器症状、精神神経症状電磁波の影響があるといわれています。

平田江美子 議員

【問】 障害者自立支援法では利用者の一割負担となったが、施設退所や福祉サービスの中断はないか。

【答】 施設退所、通所の中断はない。障がい者が安心して利用でき

る市独自の負担軽減策をおこなうべきでは。

【答】 法による軽減措置をおこなうことにより、軽減が図られるので財政状況からも市独自の軽減策は考えていない。

【問】 介護保険制度における軽度者の福祉用具貸与について。

【答】 車椅子利用で歩行困難、起き上がりが困難と認められる重度者に限る。

高橋 正美 議員

【問】 二〇〇七年四月、登別市に開校予定の明日中等教育学校では、放課後等のセミナーの実施や大手予備校の講義の導入を検討しているようだが、「エリート校」化することはないのか。

【答】 国会で、受験準備に偏つたいわゆる「受験エリート校」化など偏差値による学校間格差を助長することや受験競争の低年齢化を招くことのないよう政府及び関係者は特段の配慮をすべき、との決議がなされている。

道教委でも、教育課程の編成や入学者の選考について、十分検討されているものと理解している。

山田 新一 議員

【問】 地域職員ネットワークの目的

とまちづくりとの関わりを示せ。

【答】 職員が地域のイベントや様々な行事に参加することで、地域の人たちと職員が今まで以上に、互いに交流しながら、信頼を深めつつ、一緒に地域問題解決を考えたことが大切と考える。これが協働のまちづくりを進める潤滑油になるとともに、地域の問題提起や、苦情の把握にもつながる。九つの連合町内会単位で、二名から三名の配置を考えている。



▲明日中等教育学校

石山 正志 議員

【問】 「障害程度区分」判定が、身体介護に高く、知的・精神障害が